

和歌山県山村振興基本方針（変更）

平成28年1月

和歌山県

目 次

	頁
I 地域の概況	1
(1) 振興山村の概要	1
(2) 自然的条件	2
ア 地理、地勢	
イ 気候	
(3) 社会的経済的条件	3
ア 人口の動向	
イ 産業構造の動向	
ウ 土地利用の動向	
エ 交通・通信の状況	
オ 財政の状況	
II 現状と課題	7
1 山村振興対策の実施状況と評価	7
2 山村振興の現状と今後の課題	9
III 振興の基本方針及び振興施策	10
1 振興の基本方針	10
2 振興施策	10
(1) 交通施策に関する基本的事項	10
(2) 情報通信施策に関する基本的事項	10
(3) 産業基盤施策に関する基本的事項	11
(4) 経営近代化施策に関する基本的事項	11
(5) 地域資源の活用に係る施策に関する基本的事項	12
(6) 文教施策に関する基本的事項	12
(7) 社会、生活環境施策に関する基本的事項	12
(8) 高齢者、障害者福祉施策に関する基本的事項	13
(9) 集落整備施策に関する基本的事項	13
(10) 国土保全施策に関する基本的事項	13
(11) 交流施策に関する基本的事項	14
(12) 森林、農用地等の保全施策に関する基本的事項	14
(13) 担い手施策に関する基本的事項	15
(14) 鳥獣被害防止施策に関する基本的事項	15
(15) その他施策	15
IV 他の地域振興等に関する計画、施策等との関連	16
○ 参考資料	17

山村振興基本方針書

都道府県名	和歌山県
作成年度	平成27年度

I 地域の概況

(1) 振興山村の概要

- 本県において、山村振興法に基づき指定された振興山村を含む市町村は全30市町村のうち17市町村（65地域）となっている。
- 振興山村は、3町村が全域を、14市町が一部地域の指定を受けている。振興山村の面積は297,020haとなり、県土の62.8%を占めている。
- 振興山村指定地域（17市町村65地域）の約9割が狭谷型となっており、森林と渓谷を基調とした、優れた自然景観・温泉・各河川の豊富な水資源を有している。

※振興山村：山村振興法（昭和40年5月11日法律第64号、議員立法）に基づき、要件（1960年世界農林業センサスにおいて、林野率0.75以上、人口密度1.16人/町歩未満で、交通、経済、文化等条件に恵まれず、産業開発の程度が低いこと）を満たしている山村（昭和25年2月1日における市町村の区域単位）から都道府県知事の申請により、国土交通大臣、総務大臣及び農林水産大臣（以下「主務大臣」という。）が指定）

本県の振興山村の概要

区 分	全 県 (A)	振興山村 (B)	比率 (B/A)
市町村数	30	17	57%
面 積	4,726km ²	2,970km ²	63%
人 口	1,002,198人	56,755人	6%
若年者比率(15~29歳)	135,611人	5,427人	4%
高齢者比率(65歳以上)	273,186人	22,730人	8%

(注)・市町村数は、平成27年4月1日現在。面積は、平成25年度全国都道府県市町村別面積調（国土交通省国土地理院）。人口は、平成22年国勢調査

本県の振興山村の指定状況

現市町村名	指定地域名（旧市町村名）
田辺市	田辺市（秋津川村、長野村）、龍神村（龍神村、上山路村、中山路村、下山路村）、中辺路町（栗栖川村、二川村、近野村）、大塔村（鮎川村、富里村、三川村）、本宮町（請川村、四村、三里村、敷屋村）
新宮市	新宮市（高田村）、熊野川町（敷屋村、九重村、玉置口村、三津ノ村、小口村）
紀の川市	粉河町（鞆刈村）、桃山町（細野村）
紀美野町	野上町（志賀野村）、美里町（真国村、細野村、国吉村、長谷毛原村）
かつらぎ町	花園村
高野町	高野町、富貴村
有田川町	金屋町（石垣村、岩倉村）、清水町（八幡村、安締村、五村、岩倉村）
印南町	真妻村
みなへ町	南部川村（清川村、高城村）
日高川町	川辺町（早蘇村、丹生村）、中津村（船着村、川中村）、美山村（川上村、寒川村）
白浜町	白浜町（東富田村、北富田村）、日置川町（三舞村、川添村）
上富田町	生馬村
すさみ町	周参見村、大都河村、佐本村、三舞村
那智勝浦町	色川村、太田村
古座川町	高池村、明神村、三尾川村、七川村、小川村
北山村	北山村
串本町	串本町（和深村）、古座町（田原村）

(2) 自然的条件

ア 地理、地勢

- ・ 和歌山県は、紀伊半島西南部に位置し、古くから「木の国」と云われ、大部分が紀伊山系を中心とする山地帯で、平地は少なく紀ノ川流域の和歌山平野と有田川・日高川下流に小さな平野があるだけとなっている。
- ・ 山地は、大阪府と境を接する和泉山脈をはじめ、長峰、白馬、果無等の諸山脈は、護摩壇山、鉾尖山、高野山などをはじめ、親しまれた山々も多く、標高は1,000メートル前後で、起伏が多く地形が複雑で傾斜の急な山が多い。
- ・ 河川は、これらの山々を源流とする紀ノ川、有田川、日高川、富田川、日置川、古座川、熊野川の7河川が県土を横断して太平洋に注いでいる。
- ・ 県土の77%（36万ha）が森林に覆われ、温暖多雨な気候条件のもとで、全国でも有数の森林資源量を誇っている。

イ 気候

- ・ 本県の気象概況は、紀北と紀南で差がある。年平均気温は和歌山で17.0℃、潮岬で17.5℃と気温に関して大差はないが、年間降水量は和歌山の1,3

70mm に対し、潮岬で 2,113mm となり紀北地方と紀南地方では約 1.5 倍の雨量差がある。

- 紀北地方は瀬戸内気候に属し、降水量が比較的少なく、晴天日数や日射量が多いことが特徴である。紀南地方は温暖多雨な南海気候に属し雨量が多い。

(3) 社会的及び経済的条件

ア 人口の動向

- 振興山村の人口は、平成 22 年現在 56,755 人で、県全体 (1,002,198 人) の 5.7% を占めている。
- 振興山村における人口の推移をみると、昭和 45 年から平成 22 年までの 40 年間で 39,659 人 (△41.1%) 減少している。
- 人口減少を年齢階層別で見ると、0~14 歳の減少が最も著しく、昭和 45 年には 24,282 人あった人口が、平成 22 年には 5,678 人と約 4 分の 3 減少している (△76.6%)。15~29 歳については、15,194 人から 5,427 人に (△64.3%)、30~44 歳については、19,766 人から 7,521 人に (△61.9%) になっており、いずれも大幅な減少となっている。45 歳から 65 歳を見てみると、24,137 人から 15,399 人に減少しているが (△36.2%)、44 歳以下ほどの減少率ではない。
- 65 歳以上の高齢者は、13,035 人から 22,730 人 (74.4%) と大幅に高齢者率 (40%) が増加している。若年層の流出と重なり過疎化、高齢化の進行が顕著である。

年齢階層別人口の動向

(単位：人、%)

年度	振興山村					
	総数	0~14	15~29	30~44	45~64	65 以上
H2	73,642 (100.0)	10,877 (14.8)	10,449 (14.2)	12,051 (16.4)	22,122 (30.0)	18,143 (24.6)
H7	71,555 (100.0)	9,519 (13.3)	10,270 (14.4)	10,866 (15.2)	19,699 (27.5)	21,201 (29.6)
H12	68,837 (100.0)	8,831 (12.8)	9,104 (13.2)	10,193 (14.8)	17,945 (26.1)	22,764 (33.1)
H17	63,205 (100.0)	7,007 (11.1)	7,277 (11.5)	8,914 (14.1)	16,514 (26.1)	23,493 (37.2)
H22	56,755 (100.0)	5,678 (10.0)	5,427 (9.6)	7,521 (13.3)	15,399 (27.1)	22,730 (40.0)

年度	県全体					
	総数	0～14	15～29	30～44	45～64	65以上
H2	1,074,325 (100.0)	192,980 (18.0)	199,986 (18.6)	224,053 (20.9)	292,640 (27.2)	164,666 (15.3)
H7	1,080,435 (100.0)	175,678 (16.3)	198,038 (18.3)	203,077 (18.8)	308,049 (28.5)	195,593 (18.1)
H12	1,069,912 (100.0)	159,540 (14.9)	185,789 (17.4)	193,063 (18.0)	305,139 (28.5)	226,381 (21.2)
H17	1,035,969 (100.0)	142,870 (13.8)	155,195 (15.0)	193,639 (18.7)	294,465 (28.4)	249,800 (24.1%)
H22	1,002,198 (100.0)	129,154 (12.9)	135,611 (13.5)	184,152 (18.4)	280,095 (27.9)	273,186 (27.3)

出典：振興山村は、国勢調査・山村カード、県全体は国勢調査

イ 産業構造の動向

- 振興山村の産業別就業人口比率は、平成22年現在の就業人口24,445人のうち第1次産業19.7%（4,811人）、第2次産業で19.8%（4,842人）、第3次産業で60.5%（14,792人）と、和歌山県平均（1次9.6%、2次22.4%、3次68.0%）と比較して、第1次産業の比率が高く、第2次・第3次産業の比率が低くなっている。
- 昭和40年から昭和45年当時、半数以上を占めていた第1次産業の就業者比率は年々低下し、第3次産業の就業者人口の比率が高まってきている。
- 振興山村の産業構造は、第3次産業にシフトしてきているが、第2次、第3次産業の雇用需要は低調であり、若年層の流出が続いている。
- 平成24年の県内一人あたりの市町村民所得は273万円であるが、振興山村市町村では236万円（うち全部山村市町村では226万円）と低くなっている。
- 本県及び県内振興山村において各産業で就業者数が減少傾向にある中で、振興山村においては約20.0%が依然第1次産業に従事しており、県平均の2倍の割合である。

産業別就業者数の動向

(単位：千人、%)

年度	振興山村				県全体			
	全体	1次産業	2次産業	3次産業	全体	1次産業	2次産業	3次産業
H2	36 (100.0)	10 (27.8)	9 (25.0)	17 (47.2)	502 (100.0)	64 (12.7)	146 (29.1)	292 (58.2)
H7	36 (100.0)	10 (27.8)	9 (25.0)	17 (47.2)	518 (100.0)	61 (11.8)	147 (28.4)	310 (59.8)
H12	31 (100.0)	7 (22.6)	8 (25.8)	16 (51.6)	496 (100.0)	53 (10.7)	132 (26.6)	311 (62.7)
H17	28 (100.0)	6 (21.4)	6 (21.4)	16 (57.2)	470 (100.0)	50 (10.6)	110 (23.4)	310 (66.0)
H22	25 (100.0)	5 (20.0)	5 (20.0)	15 (60.0)	438 (100.0)	42 (9.6)	98 (22.4)	298 (68.0)

出典：振興山村は、国勢調査・山村カード、県全体は、国勢調査

ウ 土地利用の状況

- ・ 県内の振興山村の林野率は92.3%であり、耕地等の割合は0.9%となっている。

土地利用の状況

(単位：ha、%)

年度	振興山村						
	総土地面積	耕地面積				林野面積	
		田	畑	樹園地		森林	
H2	296,536	4,581 (1.5)	2,299 (0.8)	387 (0.1)	1,895 (0.6)	274,081 (92.4)	274,064 (92.4)
H7	297,099	4,195 (1.4)	1,975 (0.7)	337 (0.1)	1,883 (0.6)	275,079 (92.6)	275,062 (92.6)
H12	297,751	3,888 (1.3)	1,738 (0.6)	327 (0.1)	1,823 (0.6)	273,480 (91.8)	273,463 (91.8)
H17	297,759	3,037 (1.0)	1,180 (0.4)	180 (0.1)	1,677 (0.5)	273,600 (91.9)	273,582 (91.9)
H22	297,020	2,723 (0.9)	1,036 (0.3)	209 (0.1)	1,478 (0.5)	274,066 (92.3)	274,048 (92.3)

年度	県全体						
	総土地面積	耕地面積				林野面積	
			田	畑	樹園地		森林
H2	472,234	31,344 (6.6)	11,586 (2.5)	1,714 (0.3)	18,044 (3.8)	363,569 (77.0)	363,507 (77.0)
H7	472,429	29,642 (6.3)	10,265 (2.2)	1,607 (0.3)	17,770 (3.8)	364,199 (77.1)	364,173 (77.1)
H12	472,555	28,386 (6.0)	9,350 (2.0)	1,581 (0.3)	17,455 (3.5)	362,824 (76.8)	362,804 (76.8)
H17	472,608	24,868 (5.3)	7,073 (1.5)	1,203 (0.3)	16,592 (3.5)	362,626 (76.7)	362,595 (76.7)
H22	472,629	23,879 (5.0)	6,725 (1.4)	1,337 (0.3)	15,817 (3.3)	363,040 (76.8)	363,014 (76.8)

出典：総土地面積：農林業センサス。耕地面積：振興山村は、山村カード・農林業センサス、県全体は、農林業センサス。林野面積：農林業センサス・H7年は、県資料

エ 交通・通信の状況

- ・ 振興山村は内陸や山間部が多く、道路をはじめとする交通体系の整備が遅れている状況である。
- ・ 振興山村においては携帯電話・インターネットのプロードバンドサービスの利用困難地域が存在する。

オ 財政の状況

- ・ 振興山村を包括する市町村の財政力の、最近3カ年（平成24年度～平成26年度）平均値を市町村単位（振興山村包括市町村：17市町村）で表すと、紀の川市の0.441、白浜町の0.467、上富田町の0.471を除き、他の地域は0.4未満となっており、地方交付税の依存度が高くなっている。

II 現状と課題

1. 山村振興対策の実施状況と評価

本県においては、昭和40年から47年にかけて65地域が振興山村として指定されている。現在では17（H27.4.1時点）市町村が振興山村を有している。振興山村の指定を受けた地域は、第1期対策から第6期対策まで県が策定する山村振興計画に基づき、交通・通信、産業基盤、生活環境整備、国土保全等の振興対策を実施してきた。

第1期対策（昭和40年度～昭和47年度）では29市町村の指定地域すべてで計画を樹立し、山村の農林漁業生産基盤の整備、農林漁業経営近代化施設の導入及び農林漁家の環境整備を図るための事業を実施した。

第2期対策（昭和47年度～昭和54年度）においても29市町村の指定地域すべてで計画を樹立し、山村の特性に応じた農林漁業の経営近代化事業をはじめ、緑地等休養資源開発利用事業、山村開発拠点施設整備、集落整備事業等を重点的に実施した。

第3期対策（昭和54年度～平成2年度）では26市町村の指定地域で計画を樹立し、地域自らが自主的に樹立した計画に基づいて、地域の特性に応じた農林漁業の振興、農林漁家世帯員の就業機会の確保、生活環境の整備、高齢者の生きがい対策等に関し必要な事業を総合的に実施した。

第4期対策（平成3年度～平成10年度）では、23市町村の指定地域で計画を樹立し、第3期と同じく地域自らが自主的に樹立した計画に基づいて山村における適正な国土管理の推進を図るとともに、地域資源を高度に活用し、地域全体としての所得の確保と、地域住民が快適で誇りを持って定着できる山村社会を実現するため、高付加価値型農林漁業の振興、森林・農地等の適正な保管理の推進、都市との交流の促進、適正な生活空間の整備と就業機会の確保に関し、必要な事業を総合的に実施した。

第5期対策（平成11年度～平成16年度）では9市町村の指定地域で計画を樹立し、従来の格差是正という観点に加え、豊かな自然環境とうるおいのある生活空間を有する活力ある山村社会の構築を主な目的として、高付加価値・高収益型農業等の確立、新しい地域産業の振興、山村と都市との交流及び文化教育の増進、農林地利用・管理の促進、高齢者や女性が能力を発揮する場の提供等、各種対策を総合的に実施した。

第6期対策（平成17年度～平成26年度）では、8市町村の指定地域で計画を樹立し、山村の農林漁業生産基盤の整備、生活環境の整備に加え、生産機械施設の整備による生産体制の強化に向けて、必要な事業を総合的に実施した。

振興山村では、農林水産物の安定供給、自然環境の保全、県民及び県外からの来訪者への憩いの場の提供等多面的な機能を通じ、安全で豊かな国民生活の確保に重要な役割を果たしている。

山村振興対策事業の実績

(単位：千円)

市町村名	事業費(実績)						合計
	1期対策 S40年～ 47年度	2期対策 S47年～ 54年度	3期対策 S55年～ H2年度	4期対策 H3年～ 10年度	5期対策 H11年～ 16年度	6期対策 H17年～ 26年度	
田辺市	177,465	781,169	1,989,744	2,426,447	438,243	829,909	6,642,977
田辺市	19,379	74,058	265,487	386,555	0	0	745,479
龍神村	40,901	161,892	474,429	1,002,835	95,60	62,836	1,838,493
中辺路町	38,997	134,445	463,824	340,968	342,643	114,213	1,435,090
大塔村	36,990	182,682	432,912	696,089	0	34,110	1,382,783
本宮町	41,198	228,092	353,092	0	0	618,750	1,241,132
新宮市	45,929	170,077	514,256	372,000	0	19,780	1,122,042
新宮市	15,805	60,775	206,854	0	0	0	283,434
熊野川町	30,124	109,302	307,402	372,000	0	19,780	838,608
紀の川市	36,611	127,429	200,428	0	0	0	364,468
粉河町	26,404	66,907	0	0	0	0	93,311
桃山町	10,207	60,522	200,428	0	0	0	271,157
紀美野町	32,057	180,475	317,196	735,396	193,280	0	1,458,404
野上町	7,064	63,402	74,000	133,755	193,280	0	471,501
美里町	24,993	117,073	243,196	601,641	0	0	986,903
かつらぎ町	9,688	53,076	301,314	417,502	0	0	781,580
花園村	9,688	53,076	301,314	417,502	0	0	781,580
高野町	31,446	125,614	332,980	0	0	10,250	500,290
有田川町	56,931	223,195	1,331,936	2,130,982	1,114,981	78,000	4,936,025
金屋町	17,484	60,686	515,591	868,031	685,931	34,400	2,182,123
清水町	39,447	162,509	816,345	1,262,951	429,050	43,600	2,753,902
印南町	17,380	55,984	213,739	376,446	0	0	663,549
みなへ町	18,709	73,683	294,550	423,919	350,999	115,000	1,276,860
南階川村	18,709	73,683	294,550	423,919	350,999	115,000	1,276,860
日高川町	80,991	280,040	1,026,984	1,687,371	249,121	558,560	3,883,067
川辺町	29,278	80,480	294,098	732,161	0	27,412	1,163,429
中津村	22,748	66,438	381,665	298,360	54,711	87,000	910,922
美山村	28,965	133,122	351,221	656,850	194,410	444,148	1,808,716
白浜町	36,865	150,276	545,697	555,009	0	0	1,287,847
白浜町	15,207	59,571	269,449	267,618	0	0	611,845
日置川町	21,658	90,705	276,248	287,391	0	0	676,002

上富田町	10,804	52,824	0	0	0	0	63,628
すさみ町	29,705	212,424	353,682	7,000	0	0	602,811
那摩勝浦町	31,212	137,038	588,943	849,560	0	36,936	1,643,689
古座川町	48,690	226,302	430,670	432,450	40,544	270,487	1,201,034
北山村	9,652	65,604	201,250	424,750	0	0	701,256
串本町	25,943	125,002	873,078	981,433	0	0	2,253,565
串本町	14,271	50,265	443,584	488,285	0	0	996,405
古座町	11,672	74,737	429,494	493,148	0	0	1,257,160
計	700,078	3,040,212	9,516,447	11,820,265	2,387,168	1,918,922	29,383,092

2. 山村振興の現状と今後の課題

本県の振興山村においては、第1期から第6期の対策により生産基盤や集落環境の整備は進んできているものの、農林水産業の低迷や後継者不足に加えて、生活環境でも、水道普及率及び1千人当たりの医師数等が低い状況である。このため、若年層を中心とする人口の流出と少子高齢化も進行し、山村の活力の低下とともに担い手の不足により、国土、自然環境の保全等山村が担っている重要な役割が十分発揮されない状況となっている。

具体的には、生活・経済の活動基盤となる道路網の整備を見ると、本県特有の複雑かつ急峻な地形に阻まれ整備が遅れている。また、地域住民の交通手段として欠くことのできない公共交通機関については、鉄道やバス等の公共交通機関は沿線人口の減少による利用者の減により、路線の維持が問題となっている。

農林水産業においても、生産地が急傾斜地にあるなどの地形的に恵まれない地域が多く、機械化が困難であり、生産・運搬コスト縮減が進まず依然として経営が厳しい状況にある。

商工業においては、モータリゼーションの進展等に影響を受け、消費者の都市部への流出が続き地域の商業者は厳しい状況におかれている。また、振興山村地域において新たな産業を起こすことは、地形的・距離的制約や労働力不足のため困難な状況にある。

既に述べているように、県内の振興山村では、高齢化、人口の減少・特に若年者層の流出が続くとともに、市町村合併による地方分権の推進等により地域社会全体が構造的な変化に直面している。

また、経済、社会全体が情報・通信技術の発達により、人や情報がグローバル化するとともに企業の行動形態や個人の意識・価値観も一層多様化している。

こうした現状の中、振興山村を包括する市町村においては、住民参加のもと、地域の創意工夫により、振興山村の財産である自然環境等の地域資源を生かした自主的・主体的な地域づくりが広がりつつある。

振興山村を取り巻く社会・経済環境が大きく変化しつつある中で、これまでの諸施策により整備された施設等の成果を最大限に活用し、山村における定住の促進を目指して、交通通信体系や生活環境等、産業基盤や生活基盤の整備を引き続き推進し、山村の特色ある地域資源を活用した内発型の産業振興による山村の所得と雇用の確保や、介護サービスの確保等による住民福祉の向上等を図ることが重要である。

Ⅲ 振興の基本方針及び振興施策

1. 振興の基本方針

本県の山村地域は、豊かな自然環境を有し、県土の保全や環境保全といった公益的機能を果たしているとともに、多様な役割を持つ地域でもあり、その振興は和歌山県でも重要な課題となっている。

また、情報化の推進、地域間交流の促進、美しい景観の整備及び地域文化の振興等を図ることにより、個性豊かな社会を形成することが期待されるなど、県土づくりにおいて果たすべき役割は益々重要なものとなってきている。

しかしながら、担い手の減少による生産活動の停滞、高齢化の進展や若年層の流出など、その環境は一層厳しさを増してきている。

山村地域が有する役割、当面している課題等を考慮し、山村地域をみんなで支え合うという視点に立って、それぞれの立地条件を活かした住民主体の地域づくり活動を支援するとともに、経済活動のみならず、生活環境の整備や地域間交流の促進等により、振興山村の振興・活性化を総合的に図っていく。

これらを達成するため、次の5つの基本目標を掲げ、以下の基本的事項を実施する。

基本目標

- 個性豊かなふるさとづくり
- 地域の特性を活かした地域産業づくり
- 豊かなくらしの基礎づくり
- 都市と農山漁村の多様な交流
- 公益的機能の維持・増進の取組み

2. 振興施策

(1) 交通施策に関する基本的事項

本県の山村における国・県・市町村道は、産業の振興、地域間交流の促進などに欠かせないほか、生活基盤として重要な役割を果たしている。このため、内陸部における道路ネットワークの整備を推進するとともに、幹線道路である国・県道から日常生活に不可欠な交通サービス・移動手段を確保するため、バス等の生活交通の維持・確保に努める。

主な施策

- ・ 産業の振興や地域間交流を促進する道路の整備
- ・ 生活道路として、防災上・交通安全上必要な道路整備
- ・ バス等生活交通の維持・確保

(2) 情報通信施策に関する基本的事項

これまでの情報通信基盤の整備により、情報格差は是正されつつあるが、まだ携帯電話

の不感地区や超高速ブロードバンドの未整備地区があることから、引き続き地域の情報通信基盤の整備を促進するとともに、この基盤を有効に活用した地域情報の発信や住民生活の利便性向上等を図るための地域の取組を支援していく。

主な施策

- ・ 情報通信基盤の整備
- ・ 情報通信技術の利活用に対する支援

(3) 産業基盤施策に関する基本的事項

農林漁家戸数の減少や後継者不足、農林水産業就労者の高齢化などによる農林水産業の活力低下により、山村が果たしている多面にわたる機能の持続的な発揮が危ぶまれる状況となっている。

このような状況を踏まえ、山村の基幹産業である農林水産業の振興を図るとともに、他産業の基盤整備と併せて、農林水産業の生産の場であるとともに、多面的機能を有する農地、森林及び山村環境の基盤整備を進める。

主な施策

- ・ 良好な営農条件を備えた農地、防災施設、農道等の農業基盤の整備、耕作放棄地の抑制・活用対策
- ・ これまで整備されてきた水利施設等の適切な保全管理・計画的な更新整備
- ・ 計画的な森林整備の推進、林道やきめ細かい作業道・高性能林業機械などの林業生産基盤の整備、森林病虫獣害対策等の森林の保全管理
- ・ 漁業の生産性向上のため、漁場の造成などの生産基盤整備

(4) 経営近代化施策に関する基本的事項

農林水産業就労者の高齢化や農林水産物の価格の低迷から、農林水産業の収益性が低下しており、農林水産業の生産性向上・経営効率化施策に加えて、加工販売等の地場産業との連携強化や流通・消費の動向に即したきめ細かな対策など、力強い農林水産業経営の展開を図るため、生産から加工・流通・販売に至るまでの支援を総合的に展開する。

主な施策

- ・ 地域特産品の産地化や個性化商品の生産拡大・販売促進、産直等による経営多角化の推進
- ・ 農林水産物の加工・販売による高付加価値化及び安定供給体制整備の推進
- ・ 作業の効率化、労働負荷の軽減等に必要となる機械・施設の整備の推進
- ・ 農林水産業における多様な担い手の確保・育成や就労環境改善
- ・ 農地集積による効果的な生産の推進、森林施業の集約化の推進

(5) 地域資源の活用に係る施策に関する基本的事項

地域の基幹産業である農林水産業の生産性・収益性を向上する観点から地域の特性を活かし、その土地の資源を活用するとともに、地域に還元される経済的付加価値が最大化されるよう、農林水産物の生産工程だけでなく、製造・加工から販売までの主要な役割を地域が担う地域内発型の産業振興を図る。

主な施策

- ・ オリジナル品種など地域の特性を活かした特産品の生産振興
- ・ 地域資源である地場の農林水産物等を活用した加工業及び販売業の導入促進
- ・ 木質バイオマスをはじめとする再生可能エネルギーの地域内外での利用推進
- ・ 観光業の振興
- ・ 山村の振興に寄与する人材の育成及び確保のための支援策の推進

(6) 文教施策に関する基本的事項

本県の山村は、豊かな自然環境が保護され、先人から受け継いだ有形・無形の歴史的・文化的資産が多く残されている。

なかでも、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は、日本の精神文化を象徴する文化遺産であり、人類にとってかけがえのない貴重な遺産として適切に保存し後世に継承できるよう努める。

なお、山村における小規模校や過小規模校については、保護者・地域の意見を十分踏まえながら適正規模化を進める市町村に適切な助言や支援を行う。

このため、山村におけるより一層の教育環境の向上を図るため、公立小中学校の教育施設の整備や就学にかかる負担の軽減を支援する。

また、地域社会における伝統文化の保存、継承対策等を促進するとともに、地域の特色を生かした社会教育施設等の整備を推進する。

主な施策

- ・ 教育環境の整備の支援、生涯学習の推進
- ・ 小中学校の校舎等の整備の支援
- ・ 地域コミュニティの場の確保や体育・スポーツ施設の整備の推進
- ・ 史跡、建造物、美術工芸品、民俗文化財等の歴史的、文化的資産の保存・継承

(7) 社会、生活環境施策に関する基本的事項

生活環境においては、快適な暮らしの基盤となる上下水道等の整備とともに、魅力ある住みよい生活環境の整備が必要である。

医療においては、医師の不足、無医地区が存在する中で、医療ニーズが増大し多様化してきている。また、若年層が減少し、少子化が進行している。

このため、下水道・浄化槽等の污水处理施設の計画的、効率的な整備、快適な居住環境の確保や生活関連道路等の生活基盤の整備を推進する。また、医師の確保、救急車の整備など医療体制の整備充実を図るとともに、少子化に対応した対策の推進に努める。

主な施策

- 地域の実情に応じた水道施設、污水处理施設の整備
- 消防用設備の整備・充実の促進
- へき地医療拠点の整備及び医師の確保
- 患者輸送車などの整備推進、患者輸送体制の充実
- 地域における健康づくり活動の促進と母子保健サービスの充実
- 保育サービスの充実等安心して子どもを産み育てられる環境づくりの促進
- 空き家の利活用の推進

(8) 高齢者、障害者福祉施策に関する基本的事項

本県の振興山村の高齢化率が40%（平成22年国勢調査）と高齢化が進行している中、高齢者が地域で自立した生活を送れるよう、地域の見守り体制の構築、生涯現役社会の実現に向けた健康づくり、高齢者のニーズに応じた住まいとくらしの安心確保という、わかやまの老後に安心を届ける政策を総合的に推進する。

また、障害ある人もない人も社会の一員として社会参加し、お互いに支え合い、自分らしく暮らすことができる共生社会の実現に取り組む。

主な施策

- 地域の「見守り」体制の構築
- 生涯現役社会の実現に向けた「健康」づくり
- 高齢者のニーズに応じた住まいとくらしの「安心」の確保
- 障害福祉サービス提供体制や相談支援体制の整備
- 障害者の職業的に自立した生活実現のため、就労移行や工賃向上等の就労支援

(9) 集落整備施策に関する基本的事項

山村集落においては、美しく風格ある国土の形成に寄与するという役割を踏まえ、集落機能の維持向上を図るため、交通通信施設の整備や生活環境整備を一層促進することを基本としつつ、集落としての基礎的条件を維持することが困難な場合においては、住民の合意のもとに集落間の連携等を進める。

主な施策

- 農林水産業をはじめとする産業振興、都市との交流や移住・定住の促進、生活環境の整備、伝統工芸・芸能の活性化や人材育成等を通じた集落機能の維持活性化

- 小さな拠点づくりによる日常生活機能等の確保と地域内ネットワークの強化

(10) 国土保全施策に関する基本的事項

本県の振興山村は、急峻な地形や脆弱な地質による斜面の崩壊や浸食による土砂災害が発生しやすい一方、国土や自然環境を保全するとともに、水源をかん養し、国民に必要な資源を供給するなど国民が安全で快適な生活を営むうえで重要な役割を担っている。このことから山村地域住民の生命、財産を守り、安全・安心な暮らしを確保するとともにその有する多面にわたる機能の発揮を図るため、施設整備等のハード対策と地域ぐるみの保全活動や防災マップづくり等のソフト対策を総合的に推進する。

主な施策

- 県土の保全や水源のかん養を図るため、治山施設の整備、保安林機能の強化、森林の適正な整備保全等の推進
- 土砂災害、洪水、津波などによる被害を防止するため、治水、砂防、海岸保全等の推進、また、ダムによる洪水調節機能の強化と安定的な水資源の確保

(11) 交流施策に関する基本的事項

山村と都市との交流は、共生・対流を推進するものであり、相互理解を深めながら、人的交流による地域に不足する人材やノウハウ・技術等の確保、地域産品の需要増大や高付加価値化等を通じて山村の活性化を図る効果がある。また、将来的にUJターンにつながることも期待される。

このため、山村への移住の促進を含めた山村における定住の促進に向け、交流施設の整備を促進するとともに、山村の交流情報の収集・提供、人材（体験指導者、地域をコーディネートする人材等）の育成、地域内連携による受入体制整備等幅広い交流の支援体制を整備し、効果的で継続性のある交流事業の促進を図る。

主な施策

- グリーン・ツーリズムの推進及び人材の育成
- 自然、伝統文化、歴史等の山村の特色を生かした交流施設の整備
- 伝統的郷土芸能や山村文化の継承、豊かな山村景観の保全
- 保健・休養、体験学習、レクリエーションなど、森林の総合的利用の推進

(12) 森林、農用地等の保全施策に関する基本的事項

農林漁家戸数の減少や後継者不足、農林水産業就労者の高齢化などによる農林水産業の活力低下により、山村が有する多面にわたる機能の持続的な発揮が危ぶまれる状況となっている。

このため農林水産物等の利活用と併せて、生活水準の向上や価値観の変化など、多様化する県民のニーズに的確に対応しうる地域の特性に応じた森林・農用地等及び山村環境の

保全を進める。

主な施策

- ・ 計画的な森林整備、またはこれらの施業に必要な路網整備の推進
- ・ ほ場整備、水利施設整備、防災施設整備等による農地の保全
- ・ 農林水産物の高付加価値化等の利活用と併せた森林・農用地の保全推進

(13) 担い手施策に関する基本的事項

農林水産業就労者の減少や高齢化が進む中、産業の発展や地域社会の活性化を図るためには、意欲と能力のある力強い担い手を確保・育成することが極めて重要である。

しかし、山村の基幹産業である農林水産業は、農産物価格や木材価格の低迷等により停滞しており、後継者不足、若年層の流出という問題が生じている。

このため、地域の中核的な担い手や経営体及び地域内外からの新規就業者を積極的に確保するとともに、経営や生産に関する知識・技術の研修を促進するなど、産業を支える優れた担い手や経営体の育成を進める。

主な施策

- ・ 農業士や農業生産法人等地域農業の担い手の育成と新規就農の促進
- ・ 地域の森林経営を推進する林業事業体の確保・育成
- ・ 就労条件等の改善や研修等による林業従事者の確保・育成

(14) 鳥獣被害防止施策に関する基本的事項

近年、振興山村では、農林業者の高齢化や過疎化に加え、野生鳥獣による農林業被害の増加が生産意欲の低下を招いており、生産振興を図るうえで大きな問題となっている。

このため、イノシシ、ニホンジカ等増えすぎた鳥獣の生息数を減らす捕獲を重点に、防護柵等の設置、捕獲従事者の育成や食肉活用などの環境整備等、総合的に施策を実施する。

主な施策

- ・ イノシシ等の有害捕獲、ニホンジカ・ニホンザルの管理捕獲の推進
- ・ 防護柵等設置の推進
- ・ 捕獲従事者や農林業者に捕獲技術等を指導するアドバイザーの育成
- ・ 市町村等が行う地域活動の支援、ジビエウィークの開催や食肉加工施設の設置など食肉利用の推進

(15) その他施策

本県の山村においては、若年層の流出や高齢化による人口減少により、集落が本来持ち続けてきた伝統や文化が維持できなくなってきており、集落機能の維持も厳しくなっている。

このため、都市部からの移住・二地域居住を推進し、集落機能の担い手を確保することで地域の活性化を図る。

主な施策

- ・ 伝統文化や生活文化の保存・振興を図り、地域特性を生かした文化活動を促進し、新たな地域文化の創造を推進する
- ・ 地域の担い手となる人材の育成推進
- ・ 地域資源を活用した活発な都市交流による、地場産業の振興を推進

IV 他の地域振興等に関する計画、施策等との関連

本県においては、社会経済環境の変化を踏まえ、将来を展望した「めざす将来像」(『未来に羽ばたく 愛着ある郷土 元気な和歌山』)を県民にわかりやすく示すとともに、和歌山の元気の創造に向けて取り組んでいく施策の基本的方向を明らかにするため、和歌山県長期総合計画を策定し、各種施策の推進に取り組んでいる。

また、本県の振興山村の多くは過疎地域自立促進特別措置法(平成12年法律第15号)に基づく過疎地域に指定されており、過疎地域自立促進方針及び同計画が策定されている。

さらに、本県の振興山村すべてが半島振興法(昭和60年法律第63号)に基づく半島振興対策実施地域にも指定されており、紀伊地域半島振興計画が策定されている。

このため、本県における振興山村の振興施策の展開にあたっては、これらの計画等との整合を図りながら推進するものとする。

山村振興基本方針< 参考資料 >

参 考 資 料

表1 和歌山県の振興山村における市町村の面積と人口

市町村名 (振興山村)	指定 状況	面積 (ha)	振興山村 面積 (ha)	振興山村面積 割合 (%)	人口 (人)	振興山村 人口 (人)	振興山村人口 割合 (%)	人口密度 (人/ha)	振興山村人口 密度 (人/ha)
		(A)	(B)	(B) / (A)	(C)	(D)	(D) / (C)	(C) / (A)	(D) / (B)
田辺市	一部	102,677	93,259	90.8%	79,119	14,042	17.7%	0.77	0.15
新宮市	一部	25,543	23,104	90.5%	31,498	1,926	6.1%	1.23	0.08
紀の川市	一部	22,824	3,968	17.4%	65,840	718	1.1%	2.88	0.18
紀美野町	一部	12,831	7,182	56.0%	10,391	1,702	16.4%	0.81	0.24
かつらぎ町	一部	15,173	4,740	31.2%	18,230	384	2.1%	1.20	0.08
高野町	全部	13,708	13,708	100.0%	3,975	3,975	100.0%	0.29	0.29
有田川町	一部	35,177	24,077	68.4%	27,162	5,390	19.8%	0.77	0.22
印南町	一部	11,363	3,953	34.8%	8,606	674	7.8%	0.76	0.17
みなべ町	一部	12,026	6,355	52.8%	13,470	2,047	15.2%	1.12	0.32
日高川町	一部	33,165	31,307	94.4%	10,509	7,384	70.3%	0.32	0.24
白浜町	一部	20,104	15,186	75.5%	2,696	5,646	209.4%	0.13	0.37
上富田町	一部	5,749	2,045	35.6%	14,807	1,824	12.3%	2.58	0.89
すさみ町	一部	17,471	15,338	87.8%	4,730	3,786	80.0%	0.27	0.25
那智勝浦町	一部	18,345	12,076	65.8%	17,080	1,593	9.3%	0.93	0.13
古座川町	全部	29,452	29,452	100.0%	3,103	3,103	100.0%	0.11	0.11
北山村	全部	4,821	4,821	100.0%	486	486	100.0%	0.10	0.10
串本町	一部	13,578	6,449	47.5%	18,249	2,075	11.4%	1.34	0.32
合計		394,007	297,020		329,951	56,755			
全県面積(ha) (E)		472,629	全県人口(人) (F)		1,002,198		人口密度 (人/ha) (F)/(E)	2.12	
山村面積全県面積比 (%) (B)/(E)		62.8%	山村人口全県人口比(%) (D)/(F)		5.7%				

※市町村数は平成27年4月1日時点

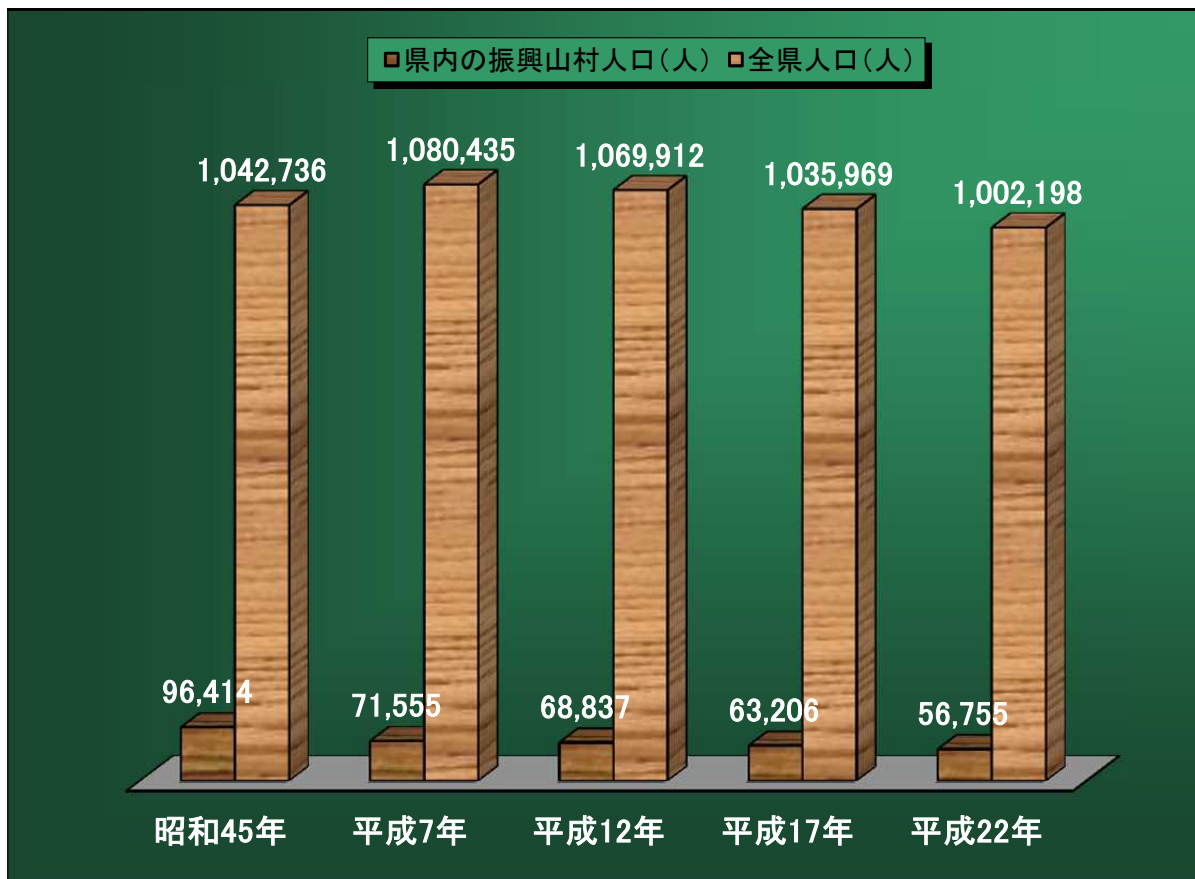
資料：①全県面積・全県人口及び各市町村毎の総面積・総人口は平成22年(2010)国勢調査

②振興山村面積・人口は平成22年(2010)農林業センサス・国勢調査

表2 振興山村の人口推移 (人・%)

区分		昭和45年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
振興山村	実数	96,414	71,555	68,837	63,206	56,755
	増減率 %		△ 25.8	△ 3.8	△ 8.2	△ 10.2
県全体	実数	1,042,736	1,080,435	1,069,912	1,035,969	1,002,198
	増減率 %		3.6	△ 1.0	△ 3.2	△ 3.3

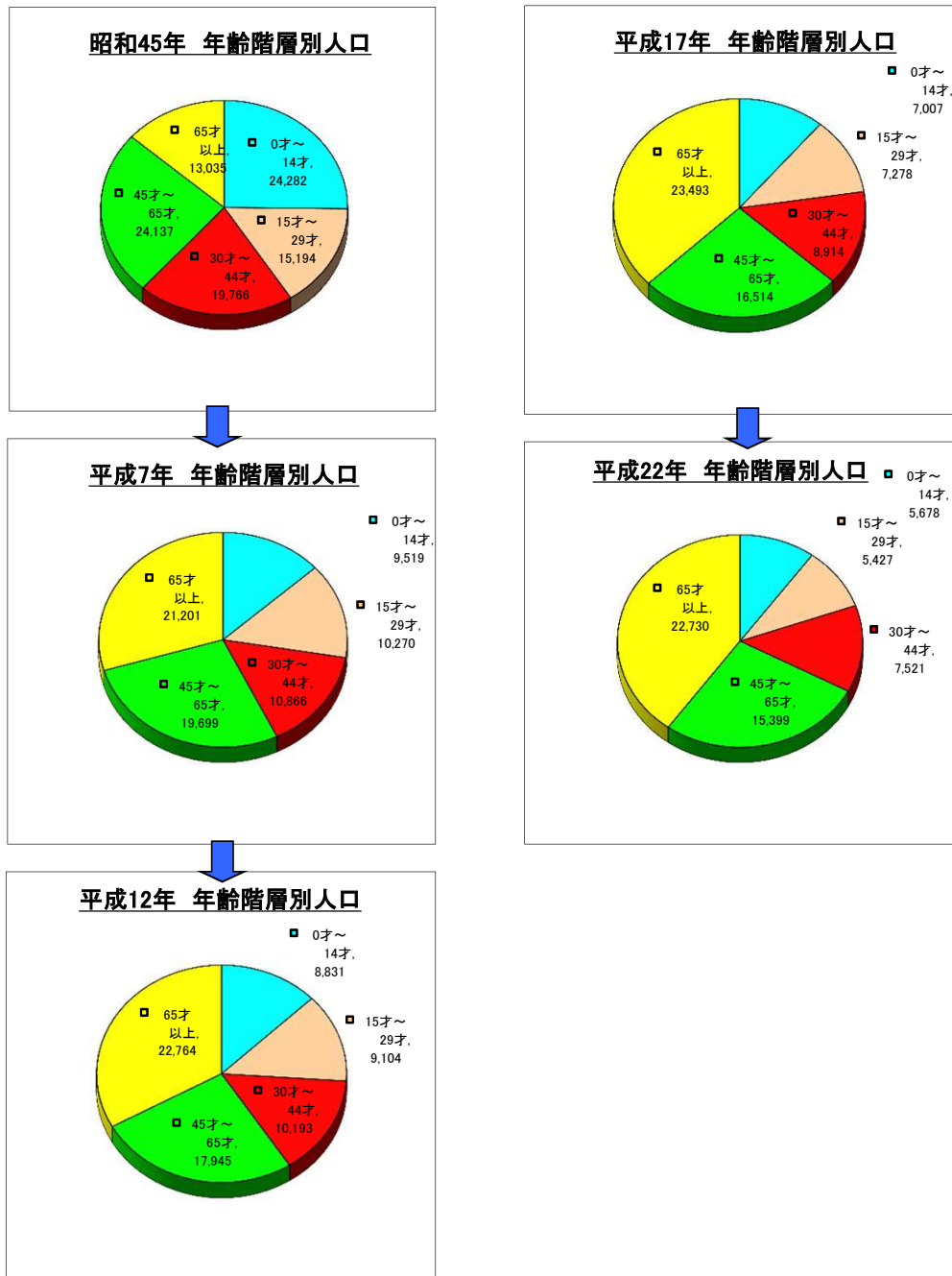
振興山村地域の人口推移



参考資料：①全県人口については国勢調査
 ②振興山村人口は国勢調査・山村カード

表3 振興山村の年齢階層別人口の動き (人・%)

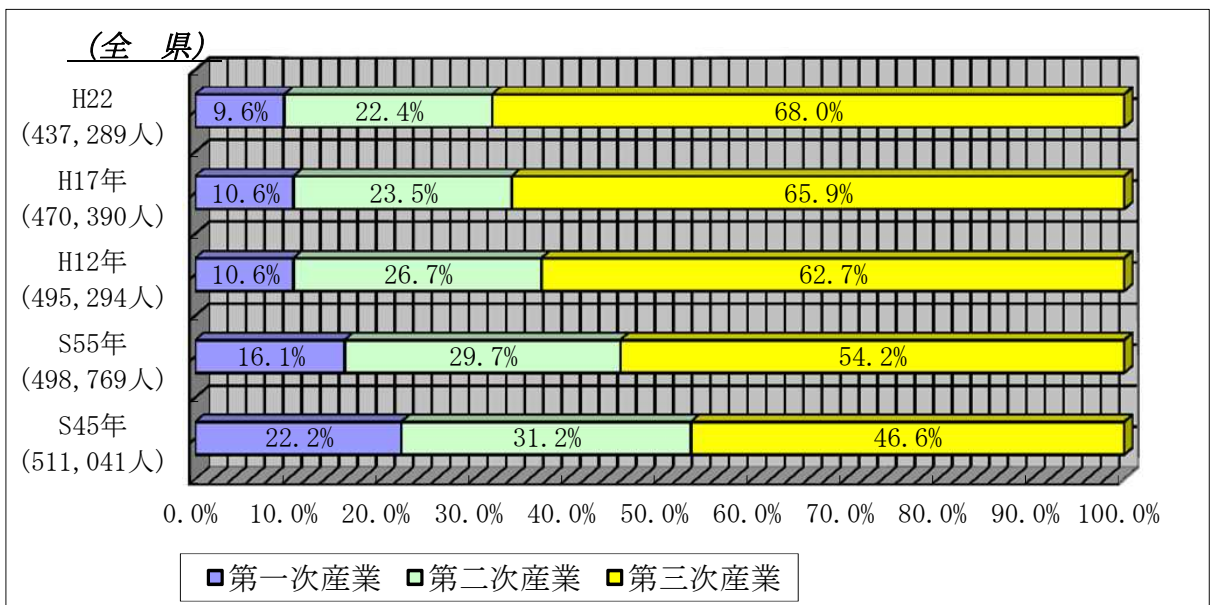
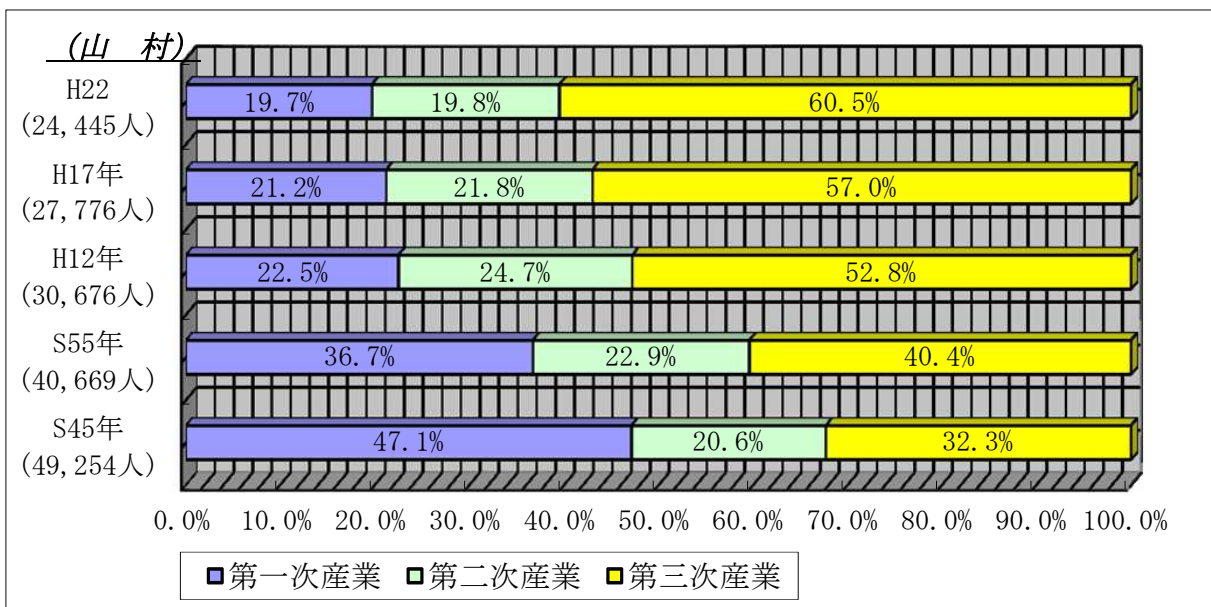
区分		昭和45年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
0才～ 14才	実数	24,282	9,519	8,831	7,007	5,678
	増減率 %		△ 60.8	△ 7.2	△ 20.7	△ 19.0
15才～ 29才	実数	15,194	10,270	9,104	7,278	5,427
	増減率 %		△ 32.4	△ 11.4	△ 20.1	△ 25.4
30才～ 44才	実数	19,766	10,866	10,193	8,914	7,521
	増減率 %		△ 45.0	△ 6.2	△ 12.6	△ 15.6
45才～ 65才	実数	24,137	19,699	17,945	16,514	15,399
	増減率 %		△ 18.4	△ 8.9	△ 8.0	△ 6.8
65才 以上	実数	13,035	21,201	22,764	23,493	22,730
	増減率 %		62.7	7.4	3.2	△ 3.3



参考資料：平成22年（2010）国勢調査

表4 振興山村と全県の産業別就業人口の比較

年度	振 興 山 村				全 県			
	第一次産業	第二次産業	第三次産業	就業人口	第一次産業	第二次産業	第三次産業	就業人口
S45年	47.1%	20.6%	32.3%	(49,254人)	22.2%	31.2%	46.6%	(511,041人)
S55年	36.7%	22.9%	40.4%	(40,669人)	16.1%	29.7%	54.2%	(498,769人)
H12年	22.5%	24.7%	52.8%	(30,676人)	10.6%	26.7%	62.7%	(495,294人)
H17年	21.2%	21.8%	57.0%	(27,776人)	10.6%	23.5%	65.9%	(470,390人)
H22年	19.7%	19.8%	60.5%	(24,445人)	9.6%	22.4%	68.0%	(437,289人)



資料：①全県就業人口は国勢調査及び和歌山県統計年鑑(職種不明分を除く)
 ②振興山村就業人口は国勢調査及び山村カード

表5 和歌山県の振興山村を包括する市町村の財政力指数

※3ヶ年平均指数上位の順 市町村数は平成27年4月1日時点

市町村名 (振興山村)	指定 状況	平成26年度 財政力指数	平成25年度 財政力指数	平成24年度 財政力指数	財政力指数 3ヶ年平均	人口 (人)	振興山村 人口 (人)
上富田町	一部	0.480	0.466	0.467	0.471	14,807	1,824
白浜町	一部	0.470	0.466	0.465	0.467	22,696	5,646
紀の川市	一部	0.434	0.443	0.445	0.441	65,840	718
田辺市	一部	0.383	0.379	0.380	0.381	79,119	14,042
新宮市	一部	0.383	0.370	0.380	0.378	31,498	1,926
かつらぎ町	一部	0.371	0.371	0.377	0.373	18,230	384
有田川町	一部	0.350	0.345	0.340	0.345	27,162	5,390
那智勝浦町	一部	0.339	0.333	0.343	0.338	17,080	1,593
印南町	一部	0.314	0.303	0.312	0.310	8,606	674
みなべ町	一部	0.320	0.306	0.295	0.307	13,470	2,047
串本町	一部	0.277	0.276	0.286	0.280	18,249	2,075
日高川町	一部	0.233	0.226	0.221	0.227	10,509	7,384
紀美野町	一部	0.217	0.221	0.226	0.221	10,391	1,702
高野町	全部	0.201	0.190	0.199	0.197	3,975	3,975
すさみ町	一部	0.188	0.173	0.174	0.178	4,730	3,786
古座川町	全部	0.118	0.113	0.118	0.116	3,103	3,103
北山村	全部	0.099	0.094	0.092	0.095	486	486
平均		0.305	0.299	0.301	0.301	20,585	3,339

表6 山村振興対策実施状況

指定年度 (一期)	市町村	旧市町村	2期 選定年度	3期 選定年度	新山振 選定年度	五期 選定年度	六期 選定年度
S40 (S41. 3. 31)	古座川町	高池町、明神 村、三尾川村、 七川村、小川村	S47	S54	H4	H13	H19
	美山村	川上村、寒川村	S47	S54	H3	H11	H20
S41 (S41. 12. 20)	本宮町	請川村、四村、 三里村	S48	S55			H20
	中津村	船着村、川中村	S47	S54	H3	H13	H20
	花園村	花園村	S48	S55	H7		
S42 (S42. 12. 15)	金屋町	石垣村、岩倉村	S53	S59	H6	H12	H19
	大塔村	鮎川村、富里 村、三川村	S47	S54	H3	H12	H20
	古座町	田原村	S50	S57	H6		
S43 (S43. 12. 28)	那智勝浦町	色川村、太田村	S49	S58	H6		H20
	中辺路町	栗栖川村、二川 村、近野村	S48	S55	H3	H12	H20
	龍神村	龍神村、上山路 村、中山路村、 下山路村	S49	S56	H5	H12	H20
	清水町	八幡村、安締 村、五村、岩倉 村	S48	S55	H3	H11	H20
	美里町	真国村、細野 村、国吉村、 長谷毛原村	S48	S55	H5		
S44 (S44. 12. 27)	熊野川町	敷屋村、九重 村、玉置口村、 三津ノ村、小口 村	S50	S56	H4		H20
	すさみ町	周参見村、大都 河村、 佐本村、三舞村	S49	S56	H7		
	日置川町	三舞村、川添村	S49	S56	H5		
	田辺市	秋津川村、長野 村	S50	S57	H6		
	南部川村	清川村、高城村	S50	S57	H4	H11	H17
	高野町	高野町、富貴村	S49	S56			H20
S45 (S45. 12. 24)	野上町	志賀野村	S51	S58	H8		
	印南町	真妻村	S51	S58	H8		
	白浜町	東富田村、北富 田村	S51	S57	H6		
	上富田町	生馬村	S51				
	北山村	北山村	S51	S60	H8		
S46 (S47. 2. 23)	新宮市	高田村	S52	S58			
	粉河町	鞆渕村	S53				
	桃山町	細野村	S53				
	串本町	和深村	S52	S59	H7		
S47 (S48. 3. 5)	川辺町	早蘇村、丹生村	S52	S59	H7		H21
計	29市町村	65地域	29市町村	26市町村	23市町村	9市町村	8市町村

※本表は各期指定年度に基づく一覧表のため、旧市町村単位で表示する。

※六期の市町村数計は合併後の市町村数

表7 振興山村 財政力指数等一覧表 (平成27年4月1日現在)

郡名	市町村名	全部・一部	(合併前市町村名)	地域名	総面積 A(ha)	林野面積 B(ha)	林野率 B/A	総人口 C(人)	人口密度 C/A	指定年 度	指定番 号	財政力指数 H24~H26 3ヶ年平均
田辺市	田辺市	一部	(田辺市)	秋津川 長野	4,739	4,001	84	1,573	0.33	44	第614号	0.381
			(龍神村)	龍上山 中山路	25,518	24,337	95	3,719	0.15	43	第424号	
			(中辺路町)	栗栖川 二近野	21,199	19,763	93	3,040	0.14	43	第423号	
			(大塔村)	鮎富川 三川	21,929	21,127	96	3,032	0.14	42	第267号	
			(本宮町)	請四里	19,874	18,432	93	2,678	0.13	41	第138号	
	新宮市	一部	(新宮市)	高田	5,557	5,149	93	364	0.07	46	第1076号	0.378
			(熊野川町)	敷屋重 九置口 玉津ノ 三小口	17,547	16,698	95	1,562	0.09	44	第611号	
	紀の川市	一部	(桃山町)	細野	910	813	89	114	0.13	46	第1078号	0.441
			(粉河町)	鞆渕	3,058	2,687	88	604	0.20	46	第1077号	
	海草郡	紀美野町	一部	(野上町)	志賀野 真国	878	524	60	461	0.53	45	第832号
(美里町)				真国野 吉原	6,304	5,493	87	1,241	0.20	43	第426号	
				長谷毛								
伊都郡	高野町	全部		高富野 貴	13,708	12,954	94	3,975	0.29	44	第616号	0.197
	かつらぎ町	一部	(花園村)	花園	4,740	4,498	95	384	0.08	41	第140号	0.373
有田郡	有田川町	一部	(金屋町)	石垣 岩倉	5,773	4,760	82	2,267	0.39	42	第266号	0.345
			(清水町)	八幡 安五 岩倉	18,304	16,435	90	3,123	0.17	43	第425号	
日高郡	日高川町	一部	(川辺町)	早蘇 丹生	5,739	4,366	76	3,408	0.59	47	第1201号	0.218
			(中津村)	船着 川中	8,711	7,822	90	2,148	0.25	41	第139号	
			(美山村)	川上 寒川	16,857	15,828	94	1,828	0.11	40	第50号	
	みなべ町	一部	(南部川村)	清川 高城	6,355	5,345	84	2,047	0.32	44	第615号	0.227
印南町	一部		真妻	3,953	3,621	92	674	0.17	45	第833号	0.31	
西牟婁郡	白浜町	一部	(白浜町)	東富田 北富田	4,236	3,557	84	4,139	0.98	45	第834号	0.467
			(日置川町)	三舞 川添	10,950	10,029	92	1,507	0.14	44	第613号	
	上富田町	一部		生馬	2,045	1,619	79	1,824	0.89	45	第835号	0.471
	すさみ町	一部		周参見 大都河 佐本 三舞	15,338	14,339	93	3,786	0.25	44	第612号	0.178
東牟婁郡	那智勝浦町	一部		色川 太田	12,076	11,420	95	1,593	0.13	43	第422号	0.338
	串本町	一部	(串本町)	和深	3,586	3,264	91	1,116	0.31	46	第1079号	0.28
			(古座町)	田原	2,863	2,465	86	959	0.33	42	第268号	
	古座川町	全部		高明池 三七神 小川川	29,452	28,195	96	3,103	0.11	40	第49号	0.116
北山村	全部		北山	4,821	4,525	94	486	0.10	45	第836号	0.095	

資料：振興山村面積：農林業センサス・人口：国勢調査